

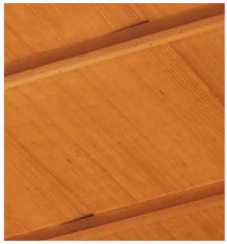


吉川 徹さん  
に伺いました



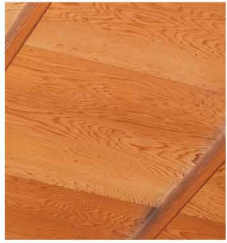
### 全国各地の銘木が見られます

来住邸には稀少な建材がふんだんに使われています。天井板一つとっても、伊勢、立山、屋久島など、部屋ごとに産地の異なる銘木が。ぜひ見比べてみてね。



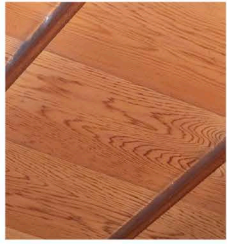
### 母屋・座敷

◀伊勢神宮の神域で育った樹齢300年以上の「神宮杉」が、台風などで倒れた時だけ「御山杉」として市場に出回ります。その貴重な銘木を贅沢に柱目で切り出して使用



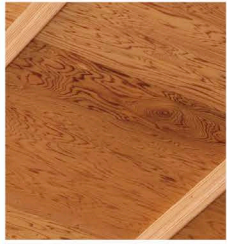
### 母屋・次の間

◀富山県の立山で育った「黒部杉」と呼ばれるネズコ材。笹杵と呼ばれる模様が繊細で美しい



### 母屋・取次間

◀鹿児島県周辺の森で育った稀少な霧島杉。さめ細かな笹杵が特徴で、その上品さは京都でも愛されています



### 離れ・本座敷

◀長い年月をかけて育つ貴重な屋久杉。細かく詰まった年輪や樹脂などが生み出す緻密で変化に富んだ杵が特徴です

# TMO NEWS

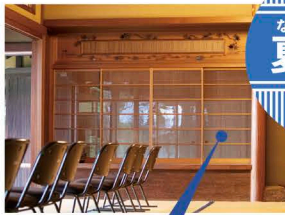
西脇まちなか交流館を拠点としたまちづくり  
town management organization「TMO」  
親しみを込めて「トモ」と読み、その活動をお伝えします

## 旧来住家住宅の ツウな見どころ5選 へその休日、建築探訪へ

ボランティアガイドが教えます

好評につき  
第二弾

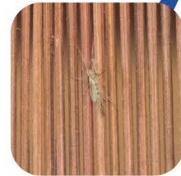
### なつしょうじ 夏障子



時本 洋子さん  
に伺いました

### 蚊も通れない細密さ!

夏に障子と入れ替えて使うことから「夏障子」と呼ばれる簾戸(すだ)。すだれをはめ込んだ建具です。特に、母屋座敷の書院の夏障子は、蚊一匹通さない細かさ! それでいて風は通してくれ、外の景色も見えて涼やかです。



▲蚊ではないけどこの虫も通れず

旧来住家住宅のボランティアガイドさんに聞く「ツウな見どころ」。昨年夏号での特集がご好評いただきましたので、今夏も第二弾をお届けします。知れば知るほど、魅力的な大正屋敷です。(は)



▲白磁の下駄? スリッパ? でしょうか。親切に、はね除けも付いています

月夜の松にとまる二羽の鶴…風情がありますね▶

どんなVIPが使われたのでしょうか?▶



### トイレ

笹倉 美樹さん  
に伺いました

### 素敵な来賓用トイレ

賓客用に造られた離れはトイレも凝っています。特に、壁をくり抜いて取り付けられ大小両室を照らす照明、着せ替え用の染付便器が素敵です。



藤田 佐和子さん  
に伺いました

折上げ格天井のこの部分が、四方ぐるりと換気孔になっています

### 風呂

### 豪華で機能的 来賓用お風呂

高野槇の湯舟と洋風タイルが和洋折衷であしらわれた離れのお風呂。折上げ格天井は単に豪華だけでなく、換気孔の機能があるなど見どころ満載です。

床タイルは織物のチェック柄のよう▼



▲洗面台はイタリア産大理石。左はシャワーヘッドが付いた洗髪用蛇口です



天野 孝美さん  
に伺いました

### ガラス

三面に19枚ものガラス戸が配されており、すべて大正ガラス▼

### 貴重な大正ガラス

離れをコの字に囲むのは、レトロな大正ガラス。職人による手延べ製法ならではの“揺らぎ”が特徴で、景色がゆがんで味わい深く見えます。



「水面に映る景色を見ているよう…」と表現された来館者の方も▶

